



2019年度、新しい歩みが始まりました。皆さん、今年度もよろしくお願ひ致します。幼稚園・保育園への入園、小学校への入学、中学・高校へ進学された皆さま、おめでとうございます。一つ上の学年へと進級された方々も共に、期待と不安でドキドキの毎日ではないでしょうか？最初からあれこれ悩んでもしょうがない、何か事が起きた時に考えましょう。ママの不安はお子さんにも移ります。どーんと構えて、お子さんを受け入れ、認め、寄り添っていれば道は必ず開けます。

春と言えばさくら。桜の花を見上げると、わたしは心のもやもやがさあ〜と晴れ渡り、勇気と得たいの知れない自信がわいてきます。思いっきり手のひらを空に向け「良いことがいっぱいありそう」とわくわくします。根っからおめでたい気質で、幼い頃から持って生まれたものなので、この矢もずらと変わらないだろうなと思います。周りの皆さまには多大なるご迷惑をおかけしていますが、「ま、しょうがない！」と諦めて下さいませ〜

ママのりあも5年目の歩みを始めました。4年前に放課後等デイサービスを始めた時は、24名のお子さんとママたちとでスタートしました。今年度は児童発達支援で通う方が27名、放デイで通う方が75名でのスタートです。可愛いお子さんたちと優しくかしこいママたちに囲まれ、相変わらず毎日笑っているわたしです。時々ふと「わたしはこれで良いのだろうか？」との疑惑が頭をもたげるので、その都度ママたちに相談し確認するのですが、どのママに尋ねてもわたしは笑っているだけで良いようで...プロの療育者と言えるのかしら？とも思います。わたしの理念は昔も今も

変わらず、子どももママも「ありのままの自分を受け入れ好きになり、自信をもって今を楽しく生きる」そのお手伝いをさせてもらうことが、わたしの療育であり教育だと思っています。

先日、嬉しいことがありました。「さんむ・ママのりあ」のことを通信でお知らせしましたが、1年生から通い5年生になったある男の子が「ひでみ先生、幼稚園女台めるの？何処で？」と尋ねて下さいました。「小さい子のママのりあを今葉で始めるんだよ」と答えると「いいなあ〜、オレも行きたい！」と言って下さったのです。お子さんからそのことを問い掛けられたのは始めてで、お家でママとお話して下さってるのだなと嬉しく思いました。相模原で事業を拡大すればいいじゃない、とよく言われるのですが、わたしにはその気は全く無く、何故さんむかと言うと「早期療育ができる！」「保健師さんと連携がとれる！」その魅力のみで選びました。全くもってわたしの我がままです。安全で保証され地道な人生にあまり魅力を感じないわたしは、他者と同じような横並び、皆と同じ、いわゆる普通の子どもにも魅力を感じません。だからこそ、ママのりあに通って下さるお子さんたちが可愛く魅力的に思えるのです。今年度も、子どもたちが思いっきり個性の花を咲かせて輝く、その姿を見てママたちと楽しみたいと思います。ひでみ

絵本『ざうそうの名前』長尾 玲子 作

図鑑ではありません。登場するのはおじいちゃんとおじいちゃん。そして沢山の草花などが刺しゅうで描かれているのですが、かなりリアルです。「ざうそうにも名前があるんだ」とおじいちゃん。ちっちゃいのも、目立たない花にも一つひとつ名前。この辺をみつけられるのも、おもしろい。知前のものもいろいろ出てきます。

よろしければ集金室で、手にとって

みて下さい

〒252-0324

相模原市南区相武台7-21-5

電話 046-244-4537

FAX 046-244-4538



ママのりあ